※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校情報Ⅰ　新訂版（実教出版）						
副教材等	高校情報Ⅰ　新訂版 学習ノート（実教出版） Python でまなぶプログラミング（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

必須の情報関連の基本事項の理解や習得を目指します。
そして、可能な限り応用的な実習を取り入れ、様々な知識や技能を場面や状況に応じて適切かつ効果的に活用できるようになることを目指します。

２　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり身に付けることを目指す。

（１）　効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会の人との関りについて理解を深めるようにする。

（２）　様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。

（３）　情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する資質を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報に関する科学的な知識・技能を身に付け、社会における情報や情報技術の意義や役割を理解している。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、思考を深め、適切に判断し表現することができる。	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用しようとする態度が身に付いている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会と問題解決	・情報とメディア ・情報技術による社会の変化 ・問題の発見と解決 ・知的財産権 ・個人情報、情報に関する法規 ・情報セキュリティ	a:学習内容を理解している。 b:学習内容について考え、問題点を表現することができる。 c: 学習内容に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。	定期考査 課題作成	学習観察 定期考査 課題作成 相互評価	学習観察 課題作成 相互評価 授業プリント 学習ノート
	情報デザイン	・コミュニケーションとメディア ・情報デザイン ・Web サイトの設計 ・アナログとデジタル ・情報のデジタル化 ・データの圧縮	a:表現に必要な知識・技術を理解している。 b:表現に必要な技術を判断し課題を作成し、他者の作品評価できる。 c:課題作成に主体的に取り組み工夫することができ他者の作品を評価できる。	定期考査 課題作成	学習観察 定期考査 課題作成 相互評価	学習観察 課題作成 相互評価 授業プリント 学習ノート
	コンピュータのしくみ	・ハードウェアとソフトウェア ・2 進数の計算 ・論理回路と論理演算 ・コンピュータの構成と動作 ・コンピュータの性能	a:学習内容を理解している。 b:学習内容について考え、問題点を理解することができる。 c: 学習内容に関心を持ち、主体的に取り組むことができる。	定期考査	学習観察 定期考査	学習観察 授業プリント 学習ノート
後期	プログラミングとシミュレーション	・アルゴリズムとプログラミング ・プログラミングの基本 ・関数 ・探索のプログラム ・整列のプログラム ・モデル化とシミュレーション ・確定的モデルのシミュレーション ・確率的モデルのシミュレーション	a:プログラミングに必要な知識・技術を理解している。 b:プログラミングに必要な技術を判断し課題を作成することができ、他者の作品を評価できる。 c:課題作成に主体的に取り組み工夫することができ、他者の作品を評価できる。	定期考査 課題作成	学習観察 定期考査 課題作成 相互評価	学習観察 課題作成 相互評価 学習ノート
	ネットワークと情報システム	・ネットワークとプロトコル ・インターネットのしくみ ・Web ﾍﾟｰｼﾞの閲覧と電子メールの送受信 ・ネットワークセキュリティ ・安全のための情報技術 ・情報システムを支えるサービスや技術 ・データベース	a:学習内容を理解している。 b:学習内容について考え、諸問題に必要な知識を判断できる。 c: 学習内容に関心を持ち主体的に実社会と繋がりを意識しうえで取り組むことができる。	定期考査	学習観察 定期考査	学習観察 授業プリント 学習ノート
	データの活用	・データの種類と扱い ・データの収集と整理 ・データの分析	a:データの活用に必要な知識・技術を理解している。 b:データ分析に必要な情報を用いて課題を作成することができ、他者の分析を評価できる。 c:課題を主体的に作成し、他者の分析を評価できる。	定期考査 課題作成	学習観察 定期考査 課題作成 相互評価	学習観察 課題作成 相互評価 学習ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度